

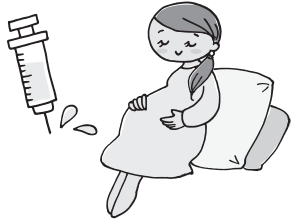
成14年度までは幼児と小学1年生及び中学2年生の男女を対象に、平成15年度から平成17年度までは幼児の男女を対象に、平成18年度からはMRという麻疹・風疹の混合ワクチンを幼児の男女を対象として接種し現在に至っております。尚、平成20年度からは、2回接種が実施されるようになりました。また、平成15年度には臨時接種を実施し、平成20年度から5年間は、中学1年生と高校1年生までの男女に接種しております。議員ご指摘のとおり以上のように複雑な制度改正がございました。

現在、25歳から35歳までの町内男女の接種率は、年齢別で31%から74%までと開きがございます。制度改正の影響が色濃く出ていると考えられます。

妊娠後の初回妊婦健康診査におきましては、梅毒やB型・C型肝炎等の感染の有無、そして風疹抗体の検査を公費で行っております。しかし、妊娠後の検査では十分なリスク回避ができません。そのため、妊娠前の抗体検査と予防接種が極めて重要であることは充分承知しております。

因みに、25歳から35歳までの風疹ワクチン未接種者全員に抗体検査を受けていただくと約180万円、予防接種を受けていただくと1170万円程が必要という試算をいたしました。

保健センターでは、風疹ワクチ



チンの定期接種が始まった当初から、初回通知や未接種者への再通知、更には未接種者へ夜間の電話による接種勧奨を行って参りました。未接種者の中には男性あるいは転入者も含まれることから、制度上の未接種者や他市町村での未接種者がいると考えられますが、丁寧にご説明やお勧めしてもなお接種いただけなかった経緯もございます。

風疹の抗体検査費用は1026円、予防接種費用は6670円でございますが、対象者の特定、助成方法、二重補助のチェック等課題がございますので今後も検討して参りたいと思っております。安全な出産で安心して子育てしていただけるよう、子育ての一環として今後も粘り強く妊娠への感染症のリスクと抗体検査や予防接種による安全確保を、あらゆる機会を捉えてお知らせして参りたいと考えておりますのでご理解を賜りたいと存じます。

## 議場ってどんな所？ 議員さんってどんな人？

今年2月7日、和知小学校の6年生児童33人が町議会の議場を見学に来てくれました。

これは社会科の授業の一環として行われたもので加藤議員とおおつちも参加しました。

児童の皆さんは、八百津町議会についての説明、議会体験のあと質疑応答が行われました。

「議員さんについて」

- ・どんな仕事をしているのですか？
  - ・任期はどれくらいですか？
  - ・人数は何人ですか？
  - ・給料はどのくらいですか。退職金はありますか？
  - ・やっていて良かったことは何ですか？
  - ・どのように町の声を聞いているのですか？
- 「議場、議会について」
- ・議場はいつからありますか？



議場

町にはどれくらい予算がありますか？

町の収入、支出はどれくらいですか？

町に借金はありますか？

「要望など」

- ・和知小学校の近くにカーブミラーを付けてほしい。
- ・街灯が少ないので付けてほしい。
- ・夕方、信号機が見にくくて危ないことがあった。
- ・稲葉城公園の草を短くしてほしい。
- ・通学路を早く作ってほしい。

など、小学生ならではの素朴な質問もあり議員と職員で丁寧な回答をしました。

後日、参加した児童からお礼の手紙が届きました。見学に来ていただきありがとうございます。



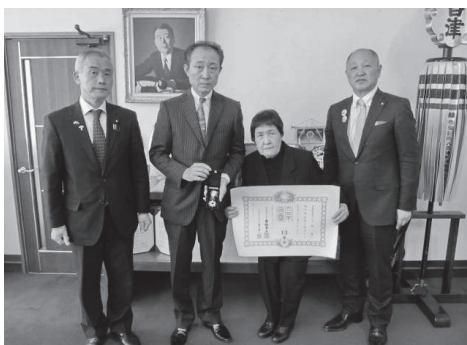
特別会議室

## 地方自治功労により「旭日単光章」を受章

町政に尽力された地方自治功労により、元八百津町議会議員の小川菊次郎さんと故大脇英さん、林俊宏町議会議長の同席のもと金子政則町長から「旭日単光章」が伝達されました。おめでとうございました。



伝達を受ける小川菊次郎さん



伝達を受けた故大脇英さんのご家族